



マンスリーレポート

report

report

■2006年マンスリーNEWS番外レポート 上海編

成長著しい中国経済は自販機市場も拡大中です。

この中で7/20～7/22まで上海で「第3回国際自動販売機展示会」が開催されました。

中国・韓国・台湾・シンガポールあたりが中心の展示会です。

展示品は、主に自販機、浄水器、コインメック、券売機、硬貨・紙幣識別機などが中心の展示会でした。

この展示会の内容はマンスリーでお届けしますので、今回はそれとは全然関係ない番外編をお届けします。

今回の旅行の参加者はN氏K氏A氏の3名です。K氏とA氏は違う業界人ですが経営者です。

両者とも中国には非常に興味があり ビジネスチャンスを狙っているように思われます。

さて、今回の番外編は皆様が上海に行かれたときに役に立つようなレポートにしたいと思っています。

そこで買い物編・食べ物編・マッサージ編に分けてレポートいたします。 それでは皆さんお付き合いよろしくお願ひします。

■ 買い物編（コピー品は健在だった！） ■

K氏とA氏は買い物大好きな、男性ではちょっと変わった(?)人達です。

特にブランド品は大好きのようでした。そこで今回はかの悪名高い(?) シャンヤン路コピー市場へ行こうと2人で大盛り上がり。

しか～しそのシャンヤン路市場はなんと6月末をもって閉鎖されていたのです。

そこで通訳の胡さんにコピー品はどこにあるのか調べてもらうことに。

コピー品販売は国際的に違法性が高いということで、中国政府が市場を閉鎖したのですが、結果それらは地下にもぐることになったのです。

我々が連れていかれたのは、通常の民家でした。その1室はおろか3部屋も4部屋も使い堂々と販売しておりました。

想像ですが、市場が閉鎖されたために、このように地下にもぐっている業者はたくさんあると思われる。



こりゃひどい！ものすごいバッグの数



ヴィトン、シャネル・・・アチャ～！！



これもひどい！ロレックスや・・・！！

ちなみに買うときは全て交渉なので欲しいと思って交渉すると足元を見られます。

もし欲しかったら、手に入らなくていいや！って感じで交渉してみてください。

きっと格安で手に入るでしょう。（よく言われるのが日本人が中国で下手なことは値切りと賄賂の渡し方とされています。）

ちなみに日本に持ち帰るのは法律では認められていませんけど・・・さて来ているお客さんを観察してみました。

不思議と日本人はそれほど多くありません。一番多いのはヨーロッパの人が多くいました。特に多かったのはスペイン人です。

その他フランス人・ドイツ人・イタリア人と会いました。なぜって？「どこから来たの？」って聞いたからです。

日本人のブランド好きは有名ですが、やはりヨーロッパの人々も好きなんですね。

ちなみに我々が買ったのかって？（買うわけないじゃないですか！）

さて次は洋服の市場です。

ここはものすごく巨大です。1日では到底回りきれません。韓国・東大門の洋服市場ととてもよく似ています。

細かいブースに分かれていて、所狭しと商品が並んでいます。ジーンズ、シャツ、子供服、靴下、靴、かばん、生地類・・・なんでも超格安であります。

ここで洋服のまとめ買いグッドだと思います。



この中全部が売り場です。



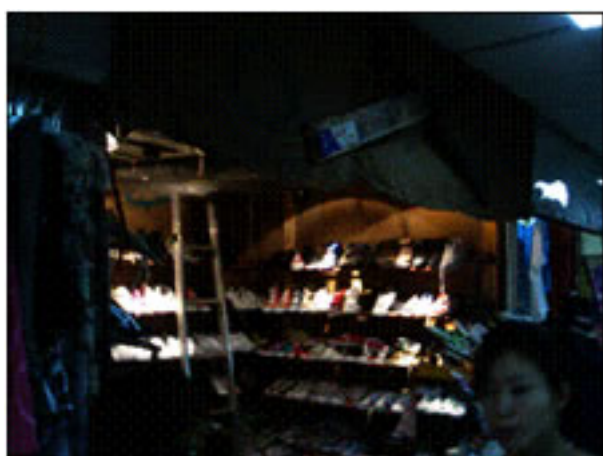
そしてここはほんの一部の建物でこの回りに同じような市場。



建設中の市場です。まだ作るのか！！



内部はこんな感じです



靴売り場です！



商品に埋もれて寝ています。お疲れかな。

価格は韓国東大門よりは間違いなく安いです。

洋服の品質も思ったほど悪いなと思います。ここも買い方としては交渉なので注意が必要です。

ものすごい数のお店ですが、その中にキラリと光るような独自性の高い店があったりします。

そういう店を発見するのも楽しいと思います。

例えば、私が発見したのは手作り革製品のお店。オーナー自らが手作りで革製品を作っているようです。

価格はやはり他の店よりはやや高めですが、明らかに良い商品でした。

次に紹介するのが、上海の裏原宿です。

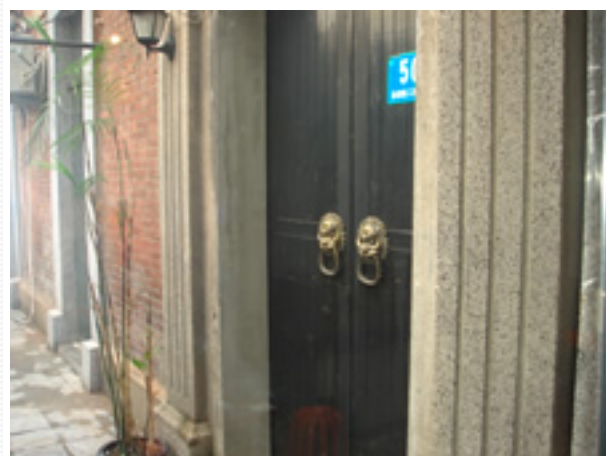
場所は泰康路という所です。

ここはおしゃれでセンスの良く独自性の高い品が販売されています。この地区はアーティストが集まる場所です。

ギャラリー、カフェ、オリジナルアパレル、アクセサリ、雑貨、家具が中心でしょうか。



坊子田という路地は特におしゃれ



アンティークの玄関です。

取手がとてもおしゃれです。

アンティークといえば、上海の虹橋地区も約100年前ぐらいのアンティーク家具屋がたくさんあります。

もちろん綺麗に再生されていますので、インテリアに興味のある方はとても楽しいと思います。

欧米人はたくさん来ています。

有名なチェンイフェイさんの工房です。

2年前にお亡くなりなられたそうです。

私自身はあまり好みの作風ではありませんが、世界的に超有名です。

この坊子田の路地にあります。

となりには大きなギャラリーがありました。

参考までに作品の一部をのせておきます。



陳逸飛
1988

陳逸飛
1988



■マンスリーNEWSアーカイブ		
→	最新	マンスリーNEWSトップページ
→	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
→	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ